小学校理科校内研修支援事業（平成30年度）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支援員学校名 | 職名 | 氏名 | 専門分野 |
| 北海道長万部高等学校 | 教諭 | 吉　田　修　介 | 化学 |

実施報告

長万部町立長万部小学校

＊学級数　11　　＊児童数　193

【ねらい】　小学校第６学年「水溶液の性質とはたらき」の単元において、児童の学習意欲を高め、リトマス紙以外に野菜（ムラサキキャベツ）などのしるを用いて、色の変化で水溶液の性質を調べる実験を正しく行うことができるよう、

ＴＴ指導体制における効果的な指導方法を身に

付ける。

【日　時】　12月6日　13:55～14:40

【場　所】　長万部小学校理科室

【参加者】　27名

【内　容】・リトマス紙以外の試薬（野菜のしる）を用いて、水溶液の仲間分けをする実験の工夫





【本事業の成果を活用した授業の改善】

本校では、支援員から学んだことを踏まえ、ＴＴ指導体制において、児童の学習意欲を高め、「発展的な内容について、正しく実験する工夫」に取り組んだ。

○　ムラサキキャベツを用いて水溶液の性質を調べる実験

１　指導の工夫

・教科書に出てくる「塩酸」や「アンモニア水」の他にも、身のまわりにある「石けん水」や「トイレ用洗剤」の性質を調べることにより、児童の実験に対する意欲を高めた。

・児童が正しく実験を行うことができるよう、ＴＴ指導体制を活かし、各グループの一つ一つの作業を確認しながら進めた。

・これまでに学習したリトマス紙を用いた実験を踏ま

え、ムラサキキャベツなどの身近にある食材を試薬

にして、水溶液の仲間分けができることを実験した

り調べたりするという発展的な学習を設定した。

・まとめにおいて、知育菓子の中にもムラサキキャベ

ツ等の色素が用いられていることを説明することに

より、児童の関心・意欲を高めた。

２　授業での児童の様子

・児童は、リトマス紙とは違った色の変化を観察し、酸性・アルカリ性・中性といった水溶液の性質を捉えるとともに、身近な食材で性質を調べることによって興味・関心を高め、集中して実験に取り組むことができた。

・児童が個々に実験に取り組むことができる準備をしたことにより、一人一人が実験を行い、手順や結果観察の仕方などをしっかり身に付けることができた。

・実験結果をグループ内で比較したり、協力したりして意欲的に学習に取り組む姿が見られた。